

城東学園通信

～保幼小中連携で子どもを育てる取組～

第1号

担当 土方小

平成27年7月1日

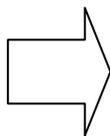
平成27年度新組織でスタート

6月10日（水）城東中学校を会場に第1回城東学園全体研修会が行われました。

今年度からは、これまでの活動の成果と課題を検証して、新しい組織での活動となりました。保育園、幼稚園、小学校の職員が、城東中学校の授業を参観した後、部会に分かれて今年度の活動の計画について協議しました。

<これまでの組織>

- 校・園長会
- 教頭会
- 教務部
- 生徒指導部
- 研修部
- 保健部
- 事務部



<新組織>

- 校・園長会
- 教頭・主任会
- 子ども育成部
- 研修部
- 安心・安全部

☆全職員の参加！

☆共通理解！

☆活動内容の
精選と充実！

○ 授業風景

城東中学校では、

「生徒が主体的に追究・表現し、『わかった』『できた』を実感できる授業」
を大切にしています！



<授業参観の感想から>

- ・落ち着いて学習する姿が見られた。学ぶ姿勢がしっかりしている。
- ・1年生の成長が著しい。3年生では、積み重ねや成長を感じた。
- ・小学校から中学校へのつながりが大切である。

○ 各部の主な活動

部会では、各部で取り組む活動について協議し、今年度の計画を作成しました。

<子ども育成部>

- ・あいさつ運動
- ・長期休業明けの合同登校指導
- ・城東学園のきまりの検討



<研修部>

- ・授業案検討会 8/3
- ・第2回全体研修会（佐東小学校会場）9/16
- ・公開保育・公開授業への参加

<安心・安全部>

- ・合同引き渡し訓練 9/4
- ・保健授業（小5）命の授業（中学校）



各地区コーディネーターの皆様です

各地区コーディネーターの皆様は、子ども育成支援協議会において重要な役割を担うとともに、園・学校に対しては、ボランティアの紹介と連絡調整を通して、城東学園の各園・学校を支援してくださっています。保護者、地域の皆様にもコーディネーターの活動について広く知っていただき、御協力をお願いします



佐東地区担当

堀川久史 様



中地区担当

杉本光繁 様



土方地区担当

高塚秀雄 様

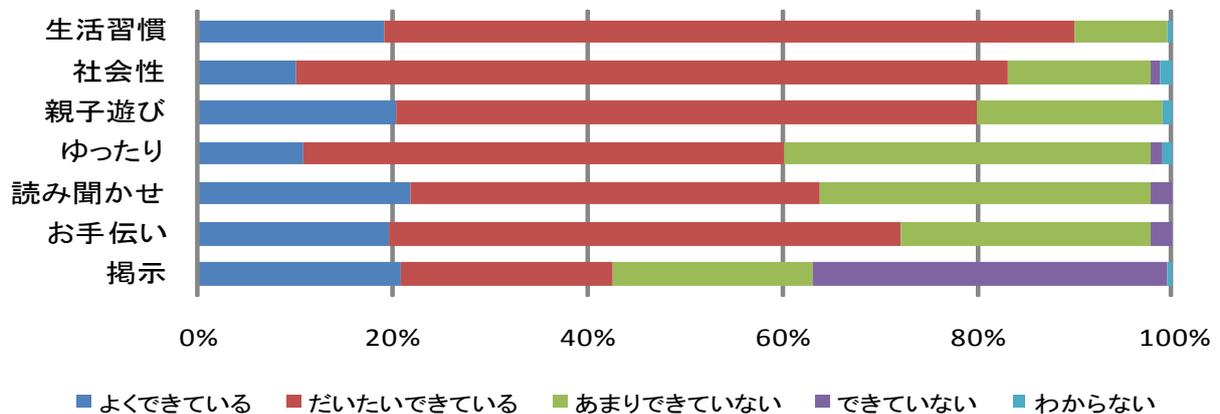
城東学園通信

NO.7
2015.3.10
担当 佐束小

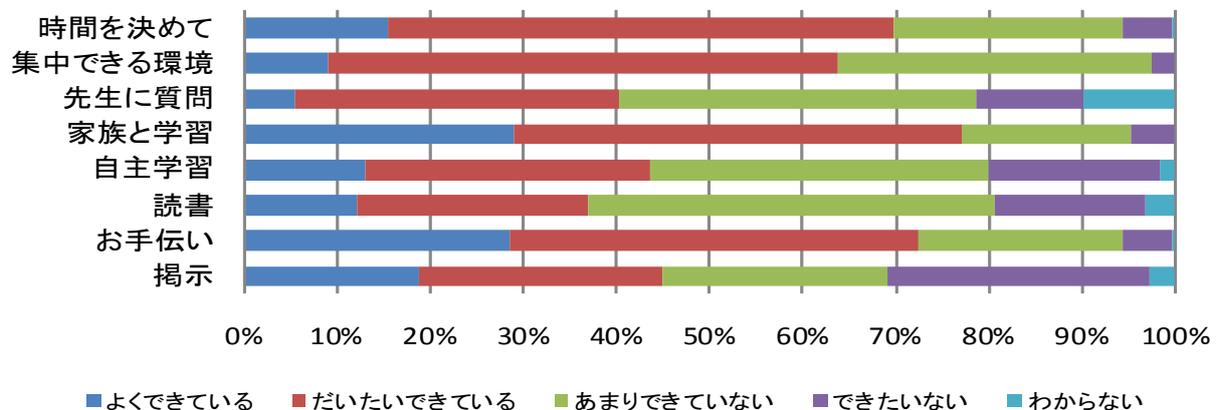
「家庭学習7か条」は活用されていますか

学力向上のために、小さな頃から家庭学習をしっかり行う習慣を付けたい。そのために、保幼小中で一貫した指導をしていこうということで、平成24年度から、『城東学園 家庭学習7か条』を作り取り組んできました。家庭の目立つ所に貼ってもらい、学校と家庭が連携して子どもを育てていこうというねらいでしたが、本年度の家庭学習の様子はどうかでしょう。

H26幼・保園全体の家庭学習7か条 調査結果

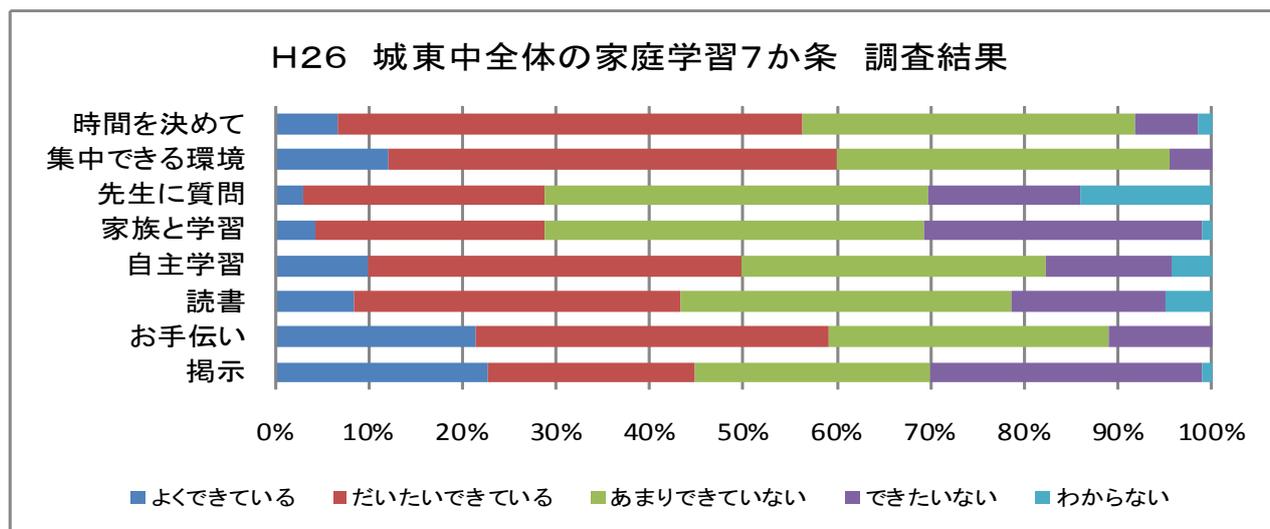


H26小学校全体の家庭学習7か条 調査結果



小学校では、「自分で立てた目標に向かって読書する」児童が37%と低く、昨年度と比べても2%下がってしまいました。読書はすべての学習の基盤となり、「心の栄養」となるともいわれます。来年度は学校でも家庭でも、もう少し読書を意識して子どもたちに

呼びかけていきたいと思えます。それ以外の項目は昨年度と比べて3～7%増えています。『家庭学習7か条』が少しずつ定着してきたことが分かります。



中学校では、昨年度と比べて、どの項目も2～8%できている生徒が増えました。「分からないところは翌日先生に質問する」「宿題は家族に見てもらおう」は28%、29%と決して高くはないのですが、昨年度に比べ増加しました。

「挨拶標語」優秀賞13点決定

本年度、城東学園子ども育成支援協議会では、「城東学園の子どもたちの挨拶を掛川一にしよう」をテーマとして取り組んできました。そして「城東学園の大人や子どもの挨拶への意識を高める」ために『挨拶標語』を募集し、先日優秀賞13点(14人)を決定しました。今後は、これらの標語を使ってポスターや看板を作ったり、地域の回覧板にも載せたりして、地域全体の挨拶への意識を高めようと考えています。

- あいさつで 顔がにっこり 心はほっこり (中幼稚園 西郷 悠さん)
- あいさつで きとうにえがお あふれるよ (城東保育園 糸田純哉さん)
- すてきなあいさつ あのここのこ きとうのこ! (城東保育園 野島恋華さん)
- 子は見てる 親のあいさつ まねている (佐東幼稚園 大庭冬初さん)
- あいさつで 笑顔あふれる 城東学園
(土方幼稚園 松本優彩さん、佐東小学校 大庭 葵さん)
- いつでも どこでも だれにでも 元気にあいさつ あふれる笑顔 (佐東小 前堀彩花さん)
- あいさつは じぶんをうつす かがみだよ (佐東小学校 四戸大翔さん)
- あいさつで 笑顔あふれる きとうの輪 (中小学校 糸田涼香さん)
- あいさつで わたしも みんなも ぼっかぼか (土方小学校 楠ヶ谷結菜さん)
- 届くといいな ぼくの声 つながり広がる 明るいあいさつ(城東中 丸山珠央さん)
- あいさつで 広げよう 地域の絆 (城東中 佐々木蓮斗さん)
- あいさつは まっていないで 自分から (城東中 榛葉ひとみさん)
- あいさつで すてきな笑顔の まちづくり (土方地区 三輪直司さん)

城東学園通信

NO.6
2014.12.19
担当 中小

報徳講演会 ～「二宮金次郎に学ぶ今を生きる知恵」～

1月5日に城東中学校で、報徳講演会を行いました。今回、大日本報徳社講師で、郷土史研究家、詩人でもある石野茂子さんに来ていただきました。

午前中は城東中学校区の小学校3、4年生に、二宮金次郎の生き方についてお話いただきました。絵を見せていただいたり、教えを一緒に唱えたり、自分がんばっていることを発表したりし、子どもたちは、あっという間の1時間だったと言っていました。

午後は保護者や地域の人たちを対象に、「今をいかに生きる～我が子とPTA活動～」と題し、奉職45年の中で、三人の子育てをする時大事にしてきたこと等を、大変わかりやすくお話いただきました。



【子どもたちに話をする石野茂子さん】

講演を聞いた子どもたちと保護者の方の感想を紹介します。



【講演を聴く3、4年生】

今日のお話を聞いて、金次郎さんは、子どもの時、自分は働けないからいいやという考えではなく、自分から何ができるか探していたから、僕も、金次郎さんみたいな生き方をしたいです。石野さんが教えてくれた3つのこと、「あいさつをする」「返事をする」「靴をそろえる」の3つのことをしっかり守っていきたいです。
〔4年男児〕

今日のお話を聞いて心に残ったことは、私たちは、お父さんとお母さんの、そのまたお父さんとお母さんが、途中でなくなっていたら、ここにはいなかったんだということです。私も、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃん、そのまた上の人みたいに、家族や自分を大切にしていきたいです。
〔4年女児〕



【自分の考えを発表する4年生】

去年は、中桐先生のお話を伺い、今年も石野先生の楽しいお話を聞くことができ、いい一時間でした。昨日、子どもとちょっとしたケンカをしたのですが、今日帰ったら、ごめんねと私から謝りたいと思います。人と比べるために生まれてきたわけではないという言葉が心に残りました。我が子は、部活も一生懸命やっているし、何より、学校が楽しそうです。それが一番かなと改めて感じさせられました。 [保護者]

日常生活の身近なことが話題になっていて、とてもわかりやすかったです。食の大切さ、よくかむこと、これからも大事にしたいと思います。そして、石野先生に伺ったように、人と比べるためではなく、自分だけの ONLY ONE の人生を歩んでいきたいと改めて思いました。 [石野さんの講演会を知り御参加いただいた方]

観音山は 感動山！ ～3小合同自然教室 12/12.13～

今年自然教室は、佐東小、中小、土方小の5年生の混合の班を作り、ウォークラリーや沢登り等の活動を行いました。観音山の大自然の中で、子どもたちは、初めて会った友達と協力し助け合いながら山や川の中を進んでいく体験をし、たくさんの感動を手にしたようです。



【城東学園5年生の子どもたち

佐東小35人、土方小29人、中小18人】

山頂登山では、大きな石がたくさんあって転びそうになりました。途中で、同じ班の佐東、中、土方のみんなでお弁当を食べました。私は、そこでNちゃんとFちゃんと仲良くなりました。・中略・ナイトウォークラリーでは、こわいな、大丈夫かなと思っていたけど、班の人がいたから怖くありませんでした。Fちゃんは、「一緒に手をつなげば怖くないよ。」と言ってくれてうれしかったです。・中略・最後のお別れの集いの時、観音山で雪が降りました。初雪だそうです。自然教室を通して、中学に行ってもみんなと仲良くできそうだなと思いました。



【沢登り：慎重によじ登る子どもたち】



【初めて会った友達と一緒に】

5年女児の作文より



城東学園通信

NO. 5

2014. 11. 12

担当

城東保育園

4園ふれあい会

(土方幼稚園、佐東幼稚園、中幼稚園、城東保育園)

城東中学校区の3幼稚園と1保育園の5歳児が集まってふれあいを楽しむ4園ふれあい会が10月28日に行われました。それぞれの地区から北運動場に歩いて集合。「おはよう！」と挨拶を交わす中で、初めて見る他園の子や先生に固い表情の子もいれば、近所で見知っている友達を見つけ手を振ったり声を掛け合ったりする子もいました。

園ごとに挨拶、そして準備体操の後、講師としてお招きした城東中学校の岡本先生にお話を頂きました。中学校で体育を指導されている先生から玉入れの時の玉の投げ方、リレーの際の走り方、コーンを廻る際の注意点等のご指導を頂きました。子どもたちは初めて会った先生に少々緊張気味の様子でしたが、子どもの表情を見ながら、声を拾いながらのお話真剣に聞き入る様子が見られました。

☆玉入れ☆ 次に赤、ピンク、黄色、水色の混合グループに分かれての玉入れをして遊びました。出会ってばかりでしたが、そこは子どものこと、すぐに意気投合しやる気満々。岡本先生の開始のピストルに合わせて玉入れ開始！秋晴れの青い空に鮮やかに紅白の玉が飛び交っていました。来年は各小学校に通うことになる子どもたち、いくつの玉が入ったかを数える時も上手に数えることができました。

☆リレー☆ 続いては同チームごとのリレー。輪のバトンを手渡ししながらボールを廻ってくるのですが、岡本先生に教えて頂いた走り方、コーンの廻り方を意識しながら、白熱した競い合いとなりました。「がんばれー！」と同じチームの子を応援する子、そして「早く！早く！」と自分の走る順番を待ちきれない様子の子もいました。



☆自由遊び☆ その後は自由遊び。運動場の滑り台やブランコ、ターザンロープ、鉄棒や芝滑り等、自由に遊びを楽しみました。たくさん子どもたちで遊具等は混み合っていました。そこは5歳児、「貸して！」「どうぞ！」等の声を掛け合い、順番を守って遊ぶ姿が見られました。

☆昼食☆ 昼食ではグループ毎に場所を決めてシートを広げ、お弁当や園で運んだ給食を楽しみました。友達のお弁当を見せ合ったり、楽しいおしゃべりをしながらの食事となりました。

☆お別れ☆ 楽しかった時間はあっという間に過ぎ、お別れの時間となりました。また近所のお店等で会える日もあるよね！よろしくね！と全員で握手をしてのお別れとなりました。年に一度の交流会ですが、これをきっかけに園同士の交流をもっと深めていけたら…と感じました。



城東学園通信

NO. 4
2014. 10. 24
担当 土方小

小小学年部合同研修

7月から9月にかけて、佐束小、中小、土方小の3小学校の教員が集まり、同学年を受け持つ教員同士で授業について検討し、実践を行いました。3校とも単学級の学校であるため、日ごろは、同じ学年の教員同士で研修を行うことがありません。城東学園の取組である「小小学年部合同研修」は、貴重な機会となっています。

平成26年度は、国語の授業づくりについて協議を行い、研修を深めました。4年部は、静西教育事務所地域支援課の学校等支援研修を兼ねての取組を行い、一層充実した研修となりました。

<研修の経過>

- 7月31日(木) 授業内容確認・検討
- 8月4日(月) 授業案作成・検討
- 9月11日(木) 事前授業(1年部・中小)
- 9月17日(水) 研究授業(1・2・3・5・6年)
- 9月25日(木) 研究授業(4年)

※地域支援課学校等支援研修
指導：静西教育事務所地域支援課
山本ゆかり指導主事



<授業者及び内容>

学年	授業者	会場	教科	单元名
1年	鴨川智香子	土方小	国語	みんなでよう
2年	倉山加奈子	中小	国語	図書館名たんていになろう
3年	林 星菜	佐束小	国語	話し合って決めよう
4年	鶴田千鶴子	土方小	国語	物語の紹介ポスターを作ろう
5年	高坂敦洋	中小	国語	説明の仕方について考えよう
6年	萩田忠久	佐束小	国語	ようこそ わたしたちの町へ

<授業の様子>

各会場校で、事前に検討を重ねた授業案をもとに授業を行いました。幼稚園、保育園、中学校の先生方も参加してくださいました。



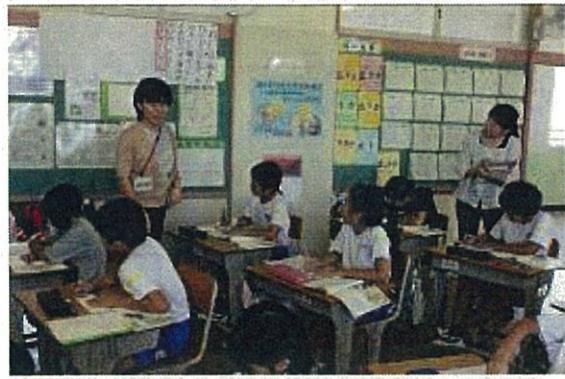
1年 「みんなでよう」土方小



2年 「図書館名たんていになろう」中小



3年 「話し合って決めよう」 佐束小



4年 「物語の紹介ポスターを作ろう」 土方小



5年 「説明の仕方について考えよう」

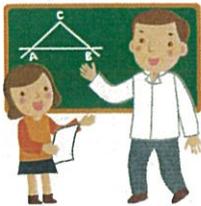


6年 「ようこそ わたしたちの町へ」 佐束小

<参加者の感想から>

校内だけでは、同じ学年の授業を見る事ができないので、年1回の小小合同研は、たいへん勉強になります。(小学校教員)

一つの教材に対して、いろいろな考え方、とらえ方があることが分かった。(小学校教員)



授業のことが中心であるが、学級経営、行事、児童についての情報交換ができたこともよかった。(小学校教員)

1時間の中での活動やそのバランス、まとめ方、また言語活動の取り入れ方等、話し合いができ、参考になった。(小学校教員)

他校の取組や研修していること、全国学力学習状況調査の課題を受けて力を入れていることなども話題となった。(小学校教員)

机間巡視やつぶやきを拾ったりし、一人一人を大切にした授業を行っていた。(中学校教員)

子どもたちの生き生きとした様子を見て、とても良い授業だと感じました。(授業支援講師)

城東学園通信

NO.3
2014.10.3
担当 城東中

保幼小中の教職員が思いを一つに

～ 城東学園職員全体研修会が開催される～

8月4日（月）に東京女子医科大学で、城東学園職員全体研修会を行いました。城東中学校区内の保幼小中教職員総勢66人が参加して開催し、城東学園の子どもたちの健やかな成長を願って研修を深めました。今号の城東学園だよりでは、その報告をいたします。

〈城東学園の取組：全体研修会〉



全体会では、佐東小の岡本校長が城東学園の概要説明を行いました。参加者全員にわかりやすくお話いただき、参加者は改めて本学園の理念の理解を深めることができました。その後、中小と城東中が自校の城東学園の取組を発表しました。保幼小中の連携、家庭との連携、地域との連携の具体的な取組が示され、各園校で今後の取組の参考になりました。

城東中学校区に住むすべての子どもたちの健やかな成長のために、学校・地域・家庭が一体となることの大切さの共通理解が図られました。

〈城東学園の取組：分散会〉



分散会では、ソーシャルネットワークサービス並びにあいさつについて、各園校での取組や情報交換を行いました。成果や課題が共有でき、充実した話し合いができました。

〈城東学園の取組：分散会の感想〉

城東地区の学園化構想の根本的なところを再確認できてよかったです。“15年間”を見通した一貫性のある教育を目指すには、やはり普段からの保～中の連携を密にしていかななくてはならないと改めて思いました。同じ時に同じ場所で、同じ内容の研修をすることにより、共通理解が図られて大変よいと思います。これが土台となり、さらに推進していけるものだと改めて感じました。

地域にある貴重な人材を学校に取り込むことは、学校の活性化、質の向上と開かれた学校づくりにつながると思う。

保幼小中が集まり、話し合う機会は大切。情報交換もでき、もっと回数を増やせたらいいです。

分散会ではテーマがあったので、焦点をしばって話ことができました。SNS等の話し合いでは、園の参加が難しいかな思いましたが、小中の先生方のお話を聞いて、園にも通じる話だと思えました。



あいさつについては一生の課題であるので、継続して取り組んでいく必要がある。掛川一のあいさつのために、大きな声だけでなく場に応じたあいさつができるよに一工夫が必要である。

その他、研修会全体への課題もありましたので、来年度に生かしていきたいです。

心と形が一体化したあいさつ

長期休業明け合同登校指導を8/28(木)佐束小、8/29(金)土方小、9/1(月)中小、9/2(火)城東中で行いました。あいさつは、人と人をつなげる大切なツールです。誰もが身に付けるべき習慣でもあり、躰です。あいさつのあるところには笑顔があります。夏休み明け、元気に笑顔で登校してくる子どもたちと園校の職員が、気持ちのよいあいさつを交わすことができました。

〈長期休業明け合同登校指導の様子〉



城東学園全体の取組の重点として、至誠の心「あいさつと礼儀」があります。あいさつ（はいの返事を含む）が掛川一になるように、発達段階を押さえて、心と形が一体化したあいさつが身につくように、学校・家庭・地域が連携していきましょう。



空に向かって真っ直ぐ育ったひまわりのように、城東中学校区の子どもたちが健やかに成長していくことを願います。



城東学園通信

No. 2
2014. 9. 1
担当:保健部

7月16日(水)に東京女子医科大学大東キャンパスで、中小学校、佐束小学校、土方小学校の5年生が合同保健授業を行いました。看護学部講師の小山達也先生に講義をお願いし、大学の一番大きな階段教室で「心とからだのつながり」について勉強しました。



講義「心と体のつながり」から学んだこと

心と体はつながっている

体の不調が、心の不安や緊張となってあらわれたり、心の不安や緊張が、体の不調となってあらわれたりする事がある。食べることや寝ること、運動すること、ストレスが関係している。

自律神経のバランスを保つにはセルフケアが大事

心の疲れに気付き、運動したり、眠ったり、栄養バランスのとれた食事をする事が大切。

周りの人に相談したり、好きなことをして気分をほぐしたりするのも良い。

交感神経
活動しているとき
緊張しているとき
ストレスがあるとき

副交感神経
休んでいるとき
眠っているとき
リラックスしているとき

ロールプレイ(場面設定をして役割を演じること)から

日曜日に、友達と遊びに行く約束をしていた「のび太」「ジャイアン」「しずかちゃん」。ずっと公園で待っていたけれど、友達は現れず、連絡もありません。月曜日に、学校で友達に会った「のび太」「ジャイアン」「しずかちゃん」の3人はそれぞれどうしたかな？

ロールプレイから気付いたこと

目と目が合っていない。声が小さい。
自分の言いたいことが言えていない。

怒り口調になってしまっている。
友達の気持ちを考えていない。

自分の言いたいことを、相手に伝えることができていない。
友達の気持ちを考えられている。
怒り口調になってない

アサーティブ(相手を尊重して自分の意見や要望を伝えること)なコミュニケーションが大事

★ 自分と友達の両方の立場を考慮すること

自分「何で来なかったんだろう？」

→友達「何で来られなかったんだろう？」

★ 自分と友達の両方が良い方考えること

「何も言わない」や「怒った気持ちをぶつける」ではなく、自分の気持ちに気付き、自分の気持ちを伝える

のび太の場合

友達「のび太くん、今日、遊ばない？」
のび太「うん(小さな声で)」
友達「どうしたの？」
のび太「別に、どうもしないけど……(小さな声で)」

ジャイアンの場合

友達「ジャイアン、今日、遊ばない？」
ジャイアン「(怒った声で)何言ってんだよ。なんで昨日来なかったのに遊ぼうなんて言ってるんだよ。絶対に遊ばないからな。」

しずかの場合

友達「しずかちゃん、今日、遊ばない？」
しずか「土曜日、どうして待ち合わせの公園に来なかったの？」
友達「急にお母さんに用事を頼まれて、行けなかったの。」
しずか「そうなんだ。でも、連絡くらいくれたら良かったのに。ずっと待っていたんだよ。」
友達「連絡しなくてごめんね」



○●子どもたちの感想から●○

私は授業を通してコミュニケーションが大事だと分かりました。コミュニケーションは伝え方で相手が嬉しくなったり、悲しくなったりするし、相手が言った言葉で自分も嬉しくなったり、悲しくなったりするからです。コミュニケーションがうまくいくと、心も体も元気になります。これからは相手を傷つけないような良いコミュニケーションにしたいなと思いました。

中小 5年

ぼくは心の体へ影響するということが良く分かり、なるほどと思いました。体の心への影響もよくわかりました。

生活習慣病は運動やストレス等に関係することを初めて知りました。ぼくは、もしも、けんかのようなになったらはっきりと自分もOK、友達もOKなやり方でやりたいです。

中小 5年

私は、初めストレスは、あまり良くないものだと思っていました。でも、時にはストレスがあることも悪いことではないと知りました。

私は友達と話している時、なかなか自分が言いたいことを言えないことが多いので、これからは自分が言いたいことや聞きたいことは言って、スッキリできるようにしたいです。家族や友達とアサーティブなコミュニケーションをたくさんしていきたいです。

佐束小 5年

ぼくは心の体への影響や体の心への影響は、全然知りませんでした。心と体が影響する病気で、特に糖尿病にかからないようにお菓子などの量を決めて食べたいと思いました。

のび太、ジャイアン、しずかちゃんのコミュニケーションをやってみて、のび太やジャイアンみたいにならないように、人への言葉遣いに気を付けたいと思いました。

佐束小 5年

私は、今日の授業で、知らない人ばかりだったのですごく緊張しました。自己紹介をするときもあまり声が出ませんでした。いろいろしているうちに、だんだんとリラックスしてきて、不思議だなと思いました。最初は緊張したけど、楽しかったです。

ロールプレイでは、私はのび太になると思いました。自分の思っていることが言えないからです。私もしずかちゃんのように正直に言えるようになりたいと思いました。土方小5年

ぼくはアサーティブと言う言葉を初めて聞きました。アサーティブは、「自分と友達の両方の立場の気持ちを考えること」、「自分と友達の両方が良い方を考えること」と分かりました。ぼくは、演習のような場面ではのび太やジャイアンのようになってしまいます。しずかちゃんみたいに優しく言いたいです。

土方小 5年



「心の健康をテーマにした小山さんの授業に耳を傾ける児童ら」掛川市の東京女子陸大東キャンパス

掛川市立城東中学校「子医大大東キャンパス」の佐束小、中小、土で、「心の健康」をテーマにした合同保健授業を受講した。

「緊張と安らぎ程よく」

掛川城東中学校区の児童 心の健康テーマに授業

合同授業は学校と地域が一体となった教育を目指す同校校区の取り組みの一環。同大看護学部の教員小山達也さんが講師を務めた。小山さんは心と身体の健康はつながっていること指摘した上で、「規則正しい生活を送り、緊張とリラックスを程よく保つことが重要」と話した。また、良好な心理状態を維持するために「コミュニケーションの大切さを強調し、友人とのトラブルを想定したロールプレイを交えながら、「自分の意見や気持ちを表現し、気をつけながら相手に伝えるべき」と話した。

2014年7月18日(金)の静岡新聞 朝刊に掲載されました。

城東学園通信

NO.1
2014.6.20
担当 佐東小

「子ども育成支援協議会」開催

本年度で5年目を迎える城東中学校区学園化構想(=城東学園)ですが、第1回「子ども育成支援協議会」(子ども育成支援協議会とは、園・学校における教育活動を地域住民が支援することにより、子どもたちの健やかな成長を育むことを目的として作られた会です。)を4月28日に佐東公民館で行いました。新会長に後藤進さん(佐東地区センター長)が選ばれ、本年度の活動計画や城東学園の取組をどのようなものにしていったらいいかということについて話し合い、平成26年度の城東学園の活動がスタートしました。

話し合いの中で、26年度は特に「至誠の心…挨拶等の礼儀」を重点とし、「城東学園の子どもたちの挨拶を掛川一にしよう」ということで確認がされました。

学園化構想のねらい

- ①幼稚園・保育園・小学校・中学校が連携を強化し、15年間を見通して一貫性のある教育を推進する。
- ②地域の教育力を園・学校に取り込むことで家庭と地域に根ざした教育を推進する。

学校の教育力アップのために、地域の皆さんに学校ボランティアをお願いしています。地域コーディネーターを通してお願いするとき、学校から直接お願いするときがありますが、御協力よろしくお願ひします。



平成26年度子ども支援協議会メンバー

会長	後藤 進	佐東地区センター長	委員	鷺山千恵子	主任児童委員
副会長	梶山 孝	中地区センター長	〃	安村なおみ	社会教育委員
委員	松永 正志	土方地区センター長	〃	若杉 吉明	大東商工会
〃	野元佐一郎	中地区区長会長(大東地区代表)	〃	春田 篤志	掛川市社会福祉協議会
〃	後藤 君平	佐東地区区長会長	〃	鷺山 範	報徳社代表者
〃	佐野 正博	土方地区区長会長	〃	鷺山 恭彦	住民代表(アドバイザー)
〃	茨田 大介	土方幼PTA	事務局	青野 貞紀	地域コーディネーター
〃	石川 康法	佐東小PTA	事務局	松本 一美	土方地区コーディネーター
〃	松下 安俊	土方小PTA	事務局	岡本 熊平	佐東地区コーディネーター
〃	大村 正和	中小PTA	事務局	杉本 光繁	中地区コーディネーター
〃	塚本 嘉男	城東中PTA	学校関係事務局		佐東小学校(校長・教頭)

※このほかに各保育園長・小中学校長が会員となっています。

「城東学園 専門部会」開催

「子ども育成支援協議会」の話し合いを受けて、6月4日(水)には、学校としての活動の確認のための「城東学園 専門部会」が佐東小学校で行われました。本年度の主な活動としては、「3小であい遠足」(5/2)、「小小学年部合同授業研修」(7/31, 8/4, 9/17)、「城東学園職員全体研修」(8/4)、「職員親睦球技大会」(8/4)、「幼小中合同避難訓練(引渡訓練)」(9/5)、「報徳講演会」(11/5)、「3小合同自然教室」(12/12・13)などが行われます。

避難訓練(引渡訓練)と報徳講演会には保護者の皆さんも参加いただくこととなりますので、よろしくお願いします。

また、城東学園では、就学前から小・中学生にかけて基本的な生活習慣や家庭学習の習慣をしっかりと身に付けるよう「家庭学習7か条」を作り、各家庭での取組をお願いしています。家庭のよく見える場所に掲示して、家族全員で意識していただけたらと思っています。



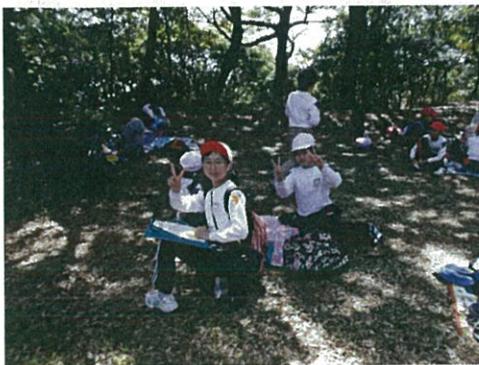
全体会で説明する岡本校長



研修部の話し合い

「3小であい遠足」楽しく行ってきました

5月2日に中・土方・佐東の3小学校が遠足を行いました。同じ城東学園の子どもとして仲間の輪を広げようということで毎年日程を合わせて行っています。今年は、中小4～6年生と土方小2～5年生と佐東小3・4年生が高天神城址で出会い親睦を深めました。



高天神城址にてパチリ



駐在所のお巡りさんの話も聞きました

